

一学期を終業しました

～皆様、ご支援・ご協力ありがとうございました～
梅雨明けとともに、一気に気温が上がり、屋外では息苦しも感じる今日この頃です。4月からスタートした1学期も本日で終業を迎えました。これまで、のびっ子164人の成長を願い、教育指導に全力を尽してまいりました。その中において、「学校が楽しい」という意識の高まりと継続は、我々教職員の目標であり、評価の視点でもあります。今後、子供たちの学校生活の満足度、そして、保護者の皆様、地域の方々の実感を合わせた軸と、我々が捉えた教育効果の軸とを関連させた教育評価を進め、1学期の教育活動を精査していきたいと思います。

さて、先日は、6年生の修学旅行を実施しました。子供たちにとって感動の2日間となったようです。多くの価値を実感し、自分の存在、他者との関わりについて深く思いを馳せた6年生でした。平和学習の講師の方からお伝えいただいた「平和の使者となれ」というメッセージの意味を、これから学びと生活をともに実現できることを期待します。長崎は快晴で、太陽は輝き、6年生に成長を促してくれた旅でした。一学期は行事等がめじろ押しで、皆様方には事あるごとに、ご理解とご支援をいただく日々となり、心より感謝いたします。おかげをもちまして、のびっ子の笑顔が輝く春から夏の登立小でした。盛夏を越え、逞しく成長できる夏休みであることを願っています。二学期もよろしくお願ひいたします。



命の講話

命を大切にする心を育む取組として保護者の方々と一緒に考える授業を行いました。全学級で道徳科の授業を公開し、命の意識化、命の尊さを捉える学習活動を行いました。その後は、講師をお迎えし、講演会を開きました。演題「受け入れることからはじめよう～たった一つのいのちから学んだこと～」をもとに、講師ご自身の体験をもとにしお話でした。命を輝かせながら、今を大切に生きることの価値について深く学んだのびっ子たちでした。

講師の森下和代先生



のびハト出発式

PTAのOBOGのみなさんが中心となった見守り隊が結成されました。名称は「のびハト」です。7月3日は、登立小にとって記念の日となりました。登立の大人が方々が、のびっ子を守りぬくという約束をした日です。強く、優しく、大きな登立の大人が方々です。平和で、楽しい登立小、安心安全で、豊かな登立。それは、のびっ子笑顔があつまっていることだと考えます。そのため大人が力を合わせるという、とても尊い活動がスタートしました。のびっ子全員が、登立に生まれ、育つことに喜びを感じ、そして、誇りを持つ時間となりました。



2年生が

春から栽培に取り組んできた野菜の収穫パーティーを開きました。きゅうり、ピーマン、ミニトマト、かぼちゃなど、たくさんのお野菜が豊かに実り、大収穫でした。今回は、お世話になった平山さんをお招きしてのピザづくり活動でした。大事に育てた自分たちだけの野菜には愛情もたっぷりです。みんなで野菜の旨味を味わいながらピザをいただきました。野菜作りは、これからも続きます。ご来校の際は菜園の葉の茂り、作物の生長の様子をご覧ください。次はサツマイモが収穫を待っています。



給食試食会

保護者の方々と一緒にいただく給食試食会を実施しました。今回は1年生と5年生で行いました。いつもと違う雰囲気に、みんなニコニコでした。いつもおいしい給食が、より一層美味に感じたことでしょう。ご来校いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。次回は12月17日(水)、2年生と4年生で実施します。



台湾の小学校との交流

本年度から台湾の小学校との交流が始まりました。台湾北部の新北市瑞芳区にある瑞濱小学校のみなさんの交流です。先日は本校にビデオメッセージが届きました。本校からも5年生が中心となってビデオメッセージを送りました。まだ始まったばかりですが、友情を深めながら台湾と日本の交流が深まっていくことを願います。



あつまれ のびっ子 「自慢発表会&小学生の主張」

「梅雨空をふきとばせ」をスローガンに、のびっ子会が主催するイベントが開かれました。応募から予選を経て出場したのびっ子たちが力の限り表現活動を行いました。会場の体育館は熱気と歓声で多に盛り上りました。主張・特技発表・ダンス等々、バラエティーに富んだ内容でした。のびっ子の力と心が結集した時間となりました。



地域の力に

4年生が取り組んでいる総合的な学習の時間「ふるさとじまん～うそ替えまつり」の取組が民族の情報番組に取り上げられました。天満宮からの生中継で、学習成果を生かしながら夏祭りに関する情報宣伝活動ができました。

7月24日(木)は、子供神輿をはじめ、ステージ発表で、お祭りを盛り上げる予定です。地域のために知恵をしづり、行動できるのびっ子たちです。



文月号



登立小HP

文責 校長



登 小 だ よ り

のびっ子の輝き

Noboritate.es
School life scene

不審者避難訓練

不審者の校内進入への対応訓練を行いました。上天草警察署のご協力を得ながらの事案シミュレーションでした。毎年実施していますが、その都度改善点が見つかります。その成果をもとに練りに練った計画を立てました。上天草警察署員の方からは、子供たちの避難、教職員の対応と、高い評価をいただきました。あってならない事ですが、起こる前にしっかりと準備に力を入れています。全員の命を守るために。



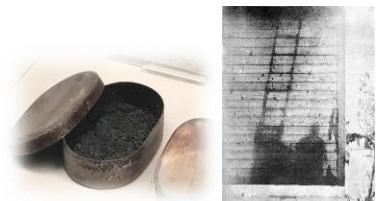
平和学習～平和への講話を聞いて～

講師の田中安次郎さんのお話を聞いて事前に調べただけでは分からなかった原爆の恐ろしさを感じ取ることができました。田中さんから教えてもらった「たった一つの生命（いのち）だから」という言葉を大切にしていきたいです。そして、私たちが平和の使者となり、今を生きている人たちに、平和について伝えていきたいと思います。私がのびっ子の後輩たちに伝えていく行動が平和の使者としての第一歩だと思います。その使命をしっかりと果たせるのびっ子になりたいです。

これからの未来のために 平和の使者として自分ができること

- 1 平和の尊さについて、もっと知る
- 2 今、生きている人に、平和について伝えていく
- 3 自分たちで平和を築いていく

原爆で炭化したお弁当箱、壁に焼き付いた人の影、原爆、戦争の跡を資料館で目にしました



平和への講話



平和集会



六年

原爆資料館・フィールドワーク～ 無窮洞を見学して学んだこと

原爆資料館に展示してあるものを見ることで、原爆がもたらした被害の大きさ、重大さを実感しました。無窮洞では、子供たちだけの力で、あんなに大きな防空壕を掘り進めた事実を知って、私たちにはできないことかもしれないと思いました。戦争中の子供たちの強さを想像しました。子供たちは生きるために、どんなことでも自分の力でやり遂げてきたのだと感じました。すごい行動力だと思いました。

修学旅行の思い出「楽しかったこと」

ホテルの部屋でみんなと一緒におしゃべりしたり、窓から見える夜景に感動したりした時間は、とても楽しい思い出です。また、ハウステンボスでの班活動は、友達と一緒にアトラクションで絶叫したり、たくさんのお店を巡ったりすることも楽しい思い出となりました。この二日間で、たくさん思い出ができました。また、友達との仲が深まり、今までよりも強く、かたい絆ができたように感じます。絶対に、大切にしたい友達です。

「修学旅行～平和を求めて～」

ま と め
今回、田中安次郎さんから教えていただいた「たった一つの生命（いのち）だから」という言葉を大切にして生きていきたい。また、実際に見て学んだことをこれから絶対に忘れず生きていきたい。

あとがき～平和の鐘を鳴らして～

戦争・原爆への考えをもって長崎に向かいました。実際に現地に足を踏み入れると、目にした現実は衝撃的であり、深く心を打ち、平和の尊さを心底から感じたことでしょう。一連の学びを通して平和の使者として、自分の足元から平和を築くリーダーとなるための実践力を身に付けて欲しいと願います。未来の幸福を創るのは子供たちです。



子供たちは、事前学習で得た知識に基づいた